

# 三中だより

令和4年度 5月号



令和4年5月13日発行  
荒川区立第三中学校  
(学校通信 No. 3)  
校長 小柴 憲一

「困った子」はいません  
「困っている子」がいるのです

世間話などで、「うちの子は困った子だ」という会話を聞くことがたまにあります。おそらく、親御さんの言う通りに勉強してくれなかったり、手伝いをしてくれなかったり、朝起きてくれなかったりなど思い通りにしてくれないということと、日本人独特の「身内のことは他人には控えめに言う」という謙遜する姿勢があってそう言っているのではないのかなと推測します。

学校でも、500人近くの子どもがいれば、多くの子どもと同じような学校生活を送ることが困難な子どもはいます。しかし、学校ではそれらの子どもを「困った子」だとは思っていません。

なぜなら、それらの子どもの中には、「こうしなければいけない」と分かっているけど、先天的・後天的な要因によってできないため、その子ども自身が困っている場合もあるからです。

例として、学校では以下のように考えています。

- 保健体育のとき着替えが遅い子に対しては、「着替えの段取りや、ボタンをかけることに困っているのではないだろうか。」
- 指示通りにノートをとったり動いたりできない子に対しては、「指示の内容を理解することや、複数の指示を全部覚えたりすることに困っているのではないだろうか。」
- 授業中に体を揺さぶったり、椅子をがたがた動かしたりする子に対しては、「じっとしているときに気持ちを落ち着かせる方法に困っているのではないだろうか。」
- 教員からの注意に対して素直に「はい」とは言えず、大人を見下そうとする発言をしてしまう子に対しては、「他の子が見ている手前、どうしたらいいか困っているのか、あるいはこれまでの成長段階で積み重なった何らかの体験で大人への従順な対応をとることに困っているのではないだろうか。」
- 過去の学校からの手紙がたくさん鞆の中に入っていて、親御さんに見せていないと思われる子に対しては、「手紙をもらったときは親に見せなければと思っていても、家に着くと忘れてしまうのではないだろうか。また、学校に来て鞆の中を空けて、見せるのを忘れたと言うことに気付き、それがたまってきてしまって、言い出しにくくなっていたり、どれがどれだか自分でも分からなくなって困っていたりするのではないだろうか。」
- 友達から話しかけられても無言だったり、その場からいなくなってしまう子に対しては、「もしかして聞こえにくかったり、同学年との関わり方が分からなくて困っているのではないか。」

これらを学校では、子どもが抱えている「困り感」とよく言います。

この困り感によりできないというのは、本人が怠けていたり身勝手だったりしてできない、あるいはやらないというのとは根本的に異なります。また、原因が何らかの障がいや病気からくるもの場合は、ご家庭の養育の問題でもないのです。一番困っているのは本人であり、このような場合、早くに周囲がその子どもの特徴に気付いて理解し、その特徴に寄り添った対応をとれば、その子どもの困り感は緩和されたり解消されたりしていくと言います。逆に、周囲の人たちが理解できないまま過ごすことにより自己肯定感が下がり、うつ病・摂食障がい・ひきこもりなどのほか反社会的行動や触法行為などの社会生活に支障を来す状況に陥るなど、いわゆる二次障がいも併発されることも十分あり得ます。

それらの子どもの困り感に気付きやすいのは保護者の方と並んで、集団の中の生活を見ている教員でもあります。

そこで、ご家庭では、お子さんの困り感のことで気になる点がありましたら、担任・学年教員・養護の教員やスクールカウンセラーにご相談ください。また、学校でお子さんの困り感に気付いたときは、ご家庭にご連絡することもあるかと思しますので、その際はまず教員の話聞いてみてください。

最終的に、その子どもに対する保護者の方の願いと学校の願いをすりあわせ、どんなときにはどのような対応をすればいいかを、学校と保護者の方で相談していければと思います。もちろん、他の子どもにも知ってもらった方がいい場合には、「説明する対象をどの範囲までにするか」「特徴のどこまでを説明するか」などもご相談のうえ対応させていただきます。その方が、多くの友達にも知ってもらい、知った子どもたちも中学生としての適切な対応をしていくことと思いますので、本人にとっては居心地が良くなるケースが多くあります。

「うちの子は学校の教員を困らせているのではないか」と少しでも思っている保護者の方がいましたら、それはどうか捨ててください。困っているのは、教員ではなくお子さんなのです。

### 学校給食と食品ロスを減らす努力

学校給食は、戦後の食糧不足、子どもたちの栄養摂取状況を鑑みて、昭和29年に学校給食法が制定され、次第に全国に広がっていきました。ただし、当時は「栄養の改善」「食糧の配分に対する正しい理解」「国民の食生活に寄与する」ことを目的にしており、現代と異なり、当時の深刻な食糧事情の中で進められていたことが容易に想像できます。

今では、「食育」という用語も根付き、食育に関して学校給食が果たす役割は大きく、バランスのとれた栄養摂取以外にも、「行事食」「郷土食」「世界の料理」「地元で生産された食材を地元で消費する地産地消」「旬の食材を使った季節の料理」など、本校でも様々な取り組みが進められています。

一方で、ご家庭でもすでにお気づきの通り、台風接近・上陸やその他の気象条件に加えて、最近、毎日のように報道されている世界情勢などもあり、様々な物価が上昇しており、食材費も例外ではありません。

栄養士は、保護者の方から納入される給食費を計画的に執行するとともに、今年度の食物アレルギーのある子どもたちの状況から、なるべく除去食対応にならないように食物アレルギーの原因食材を控えたり、除去食対応をする場合でもなるべく除去する食材が少なくなるようにしたりしております。また、調理師は、調理前に綿密な打ち合わせをしたり、アレルゲン物質の混入を防ぐ動線を確保したり、何度も確認作業をするなどして安全・安心な給食を提供するよう心がけて、先のような食育を推進しているところです。

私は、子どもたちが食べる約30分前に、検食としてその日の給食を食べていますが、素人ながら献立は工夫されており、使う食材も食物アレルギーのある子どもたちにとって公平に配慮されていると感じています。また、米の炊き具合がちょうど良く、全ての料理に関して出汁がおいしく、食材そのものの味や食感を損なわない調理をしてくれていると感じています。

さて、私は今年度の学校経営法方針の中で「すべての学級で食品ロスを減らす努力をする」と明記しました。SDGs の取り組みを学校でも推進するという目的もありますが、栄養士や調理師が苦勞をしながらも、子どもたちのために様々な料理を提供していることへの感謝の気持ちをもってほしいという思いから設けた経営方針でもあります。

調理室では給食終了後、献立ごとの残菜量を毎日記録しています。昨年度、具だくさんの汁

物や汁気の多い献立、そして混ぜご飯などのご飯の中に具材が入っている献立の残菜が多いということを「三中だより」で紹介し、「汁でお腹がいっぱいになっているのではないか」「最初に配膳し切れず食缶に残っているのではないかと、予想される原因についてもご説明いたしました。

今年度は、いずれのクラスでも「いただきます」の前に、除去食対応の子どもを除いて「増やす」「減らす」などをしており、ほぼ配膳しきっておりますが、それでも残菜はあります。以下の表は、4月の献立表で15%以上の残菜があった献立を網掛けにしたものです。

4月の残菜15%以上の献立						
日	曜	主食	主菜	副菜	汁	デザート
8	金	麻婆丼	麻婆丼	バンバンジー サラダ		清見オレンジ
9	土	わかめご飯	五目肉じゃが	ポン酢ドレッシ ングサラダ		
11	月	ご飯	厚揚げと豚肉 のみそ炒め		けんちん汁	
12	火	たけのこご飯	さわらの西京 焼き	青菜のおかか 和え	とろとろ卵のす まし汁	
13	水	チキンカレーラ イス	チキンカレーラ イス	わかめとじゃこ のサラダ		りんご
14	木	ご飯	じゃがいものそ ぼろあんかけ	みそドレッシ ングサラダ		
15	金	ハニートースト	ポークビーンズ	ツナサラダ		
18	月	小松菜チャー ハン	はたはたの唐 揚げ		鶏ささみスープ	
19	火	ご飯	肉豆腐	にんじんしりし り		
20	水	スパゲティミート ソース	スパゲティミート ソース	フレンチサラダ		豆腐のチョコレ ートケーキ
21	木	山菜おこわ	さばの塩こうじ 焼き	ごまだれ海藻 サラダ	豚汁	
22	金	豚キムチ丼	豚キムチ丼		わかめと春雨 のスープ	ミックスフルー ツ
25	月	チキンライス	チキンライス	ひじきのサラダ	コーンチャウダ ー	
26	火	ご飯	五目卵焼き	チャプチェ	春キャベツの みそ汁	
27	水	チンジャオロース 丼	チンジャオロース 丼		ニラ玉スープ	つぶつぶオレンジゼリー
28	木	ご飯	さけのにんにく 醤油がけ	五目きんぴら	さつま汁	

具だくさんの汁物や汁気の多い献立については、残ってしまう傾向は依然としてあるようです。

また、デザートでも清見オレンジのように「皮をむく」という手間が入るようなデザートは、昨年度から引き続いて残ってしまうことが多い傾向にあります。また、国産のぜんまい・わらびの入った「山菜おこわ」は「色が黒っぽくて・・・」と見た目で食が進まない子どもがいたり、キノコ類が苦手な子どもが多いため、しめじの入った「春キャベツのみそ汁」が大量に残ったりするなど、大人にとってみると意外なことも多々あります。

我が家の話になってしまいますが、旬の食材を食べたいとは思いますが、価格が高いために躊躇してしまいます。また、豚汁やおでんなどのように具の種類の多い汁物で、豊富な種類を使うとたくさんの量になってしまい、2日くらい同じ料理を食べることになってしまうので、具の種類を減らすことになってしまいます。ですから、個人的には給食のありがたさを強く感じています。

学校では、食が細い子どもに無理に食べさせるようなことはしていません。子どもたちの中には美味しいものを日々食べて、舌が肥えている子どももいるかもしれませんが、食べず嫌いを少しでも減らしたり、家庭ではあまり作ることのない料理なども食べられることを実感してもらったりして食品ロスをできるだけ減らしていくためには、保護者の方のご協力が欠かせません。

今回記載した、子どもたちの前に給食が運ばれるまでのことや、学校給食のありがたさについてお子さんに説明していただき、食べ盛りのお子さんは「いただきます」の前に「増やし」をし、そうでないお子さんもできるだけ残さないように食べてもらえればと思います。

なお、本校ホームページ上では、毎日子どもたちに示している「今日の給食」を日々更新しております。また、食育に関わるテーマがあったときは、給食時間に流したスライドも掲載しておりますので、ぜひお時間のあるときにご覧ください。

### 運動会練習始まる

本番は5月28日(土)ですが、すでに保健体育の授業では練習が始まっており、来週の月曜日に第1回目の全体練習があります。伝統の行進・ラジオ体操を3年生中心に1年生にも引き継いでいかなければなりません。運動会実行委員を中心に、各学年が結束して三中生らしい運動会をつくりあげてくれるものと信じています。

運動会実行委員長：山岸 菜乃(3-D)      運動会実行副委員長：今沢 翔太(3-C)  
2学年リーダー：皆川 晴(2-C)、原田 椿季(2-D)  
1学年リーダー：奥村 京太(1-A)、黒滝 桃寧(1-A)

### 来週は修学旅行

運動会練習をしている中ではありますが、来週の水曜日から3年生は京都・奈良方面に修学旅行に行ってきます。三組は所々別の旅程となりますが、宿泊場所などは一緒です。一つ一つ行事が終わっていくのは寂しい思いもありますが、京都・奈良で今までの学習や行動訓練の成果を発揮し、「いい思い出になった」と感じられる修学旅行にしてほしいと思います。

修学旅行実行委員長：菊澤 真結(3-D)

### お知らせ

●荒川区バレーボール春季強化大会で本校の女子バレーボール部が以下の成績を収めました。  
第3位⇒ブロック大会出場